

2005年度 出雲青年会議所 理事長報告書

平成17年1月1日
平成17年12月31日

「一年を振り返って」

2005年度理事長 梅野直宏

スローガン 『JOB CREATING!』

基本理念 創造の原点で考動しよう

- 事業方針
1. 新しい「いずも」を意識した事業展開
 2. “心”の交流を通じた青少年健全育成事業
 3. 新しいくにづくりに向けた取り組みと情報発信
 4. バランス感覚に優れた真のリーダーの育成
 5. 環境の変化に対応出来る柔軟な組織運営
 6. JC三信条の実践

雪の舞う凍てつく空気の中、メンバーの皆様と一緒に初詣として日吉神社に参詣してからスタートしました2005年度の 出雲青年会議所も締めくくりの時を迎えました。自分自身、身の引き締まる思いと未だ見ぬ新年度に対しての身の震える思いを持ったことを今でも憶えています。この締めくくりに際し、改めて初心を思い出しながら一年を振り返りますと、様々な思いと取り組み、そしてそれらがしっかりと結実したことを、今、実感するところでございます。

私たちを取り巻く経済状況は未だ不安定であり、やや回復基調を見せているとは言うものの、昨今の社会不安も相まって、自らの企業経営ですら足元は遠く望めない時代となってきております。このような時代に、いや、このような時代だからこそ私は青年経済人として、自身を、そしてこの地域をさらに光り輝くものとするために、率先して理事長という職に取り組む決意をし、メンバーの皆様に支えられながら、一年間をようやく終えることができました。

本年は、市町村合併による新出雲市の発足の年に当たり、私たちが活動するエリアも大きく拡がりました。この新出雲市の発足には、様々な「夢」とそれを膨らませる要素が無限大に広がっており、事業方針の中にある、新しい「いずも」を意識した事業展開として、全ての委員会がこの方向性を見間違わずに実践していただきました。先にも触れましたが、本年度取り組んでまいりました全ての事業が、夢を膨らませる要素を持った素晴らしい事業であり、今後の新出雲市におきましても、また、 出雲青年会議所にとりましても大変有益で、意義深いものであると確信しております。

また、新市の発足にちなみ数々の催しがございました。食の祭典、愛・地球博へのブース出

店、そしてIZUMOこころのうたコンサートなど、当初予定のない活動ではございましたが、メンバーの皆様のご理解と多大なるご協力をいただきまして、それぞれの活動を無事に終えることができました。これらの活動を通して言えることは、 出雲青年会議所がこの長きに亘り連綿と受け継いできた伝統と思いを基に、しっかりと地域に根ざした事業を展開してきた結果であり、このことが行政、諸団体からの信頼を得、より強い繋がりが持てるようになったと言えます。今までより一歩踏み込んだ取り組みともなりました神話フェスティバルは、行政との共催事業となり、その事業性は言うまでもなく、我々の持つアイデンティティーを地域の方々にとしっかりと伝えることができました。加えて言うならば、本事業において制作しました神話の國紹介ビデオは関係各位より高い評価をいただき、今後の教育、観光などのツールとして、その完成が待たれるところです。それともう一つ、愛・地球博でのブース出店では 平田青年会議所、 出雲大社青年会議所との3JC合同企画事業として、この新出雲市で活動拠点を共にするLOMが初めて一緒に事業を行うという画期的なものでした。これに伴い、本年度は年当初よりこの3つのLOMを意識し、担当者レベルでの懇談会を開催させていただきました。それぞれのLOMがどのような活動をしているのか意見交換し、より親睦を深めてまいりましたが、今後はさらに互いのLOMが刺激しあい、切磋琢磨することでさらなる活性化が望めるものと確信しております。

本年度、LOMをあげて取り組んだものに、第31回ブロックスポーツ大会と別組織を立ち上げ挑んだ会員拡大があります。ブロックスポーツ大会では全メンバーで他LOMのメンバーをお迎えするという点でしっかりと「出雲らしさ」を打ち出せたものでありましたし、公益性という観点から初めてチャリティーに取り組んだものでございました。会員拡大では、今までの組織構成を顧み、メンバーの中でも若年層の皆様に中心となっていただき、大きな成果を得たところでございます。

各委員会の取り組みも事業方針をしっかりと受け止めていただき、素晴らしい事業展開をしていただきましたが、今まで述べてきましたことを総じて今年のキーワードの一つでもある「原点」に対する位置づけができた一年となりました。

私が所信の中で挙げさせていただきました3つの「考動力」をメンバーの皆様がしっかりと理解し実践していただけた結果として、本年度行ないました様々な事業、活動が無事に滞りなく終えることが出来ました。今後もメンバー一人ひとりの「考動」が 出雲青年会議所をますます盛り上げ、活力溢れるものになると確信しております。

組 織

1. 正 会 員

本年度中の移動及び年度末の正会員数

前年度末本会員数 63名

仮 入 会 員 5名

移 籍 入 会 者 0名

移 籍 退 会 者 0名

退 会 会 員 7名

卒 業 会 員 4名

本年度末会員数 51名

特 別 会 員 1名

加入会員氏名 児玉 治、渡部 謙次、中島 亮、竹田 和彦、石川 誠司

卒業会員氏名 北尾 慶子、石橋 由行、小林 悟、嘉本 貴

中途退会者氏名 大谷 訓、藤原 祐樹、渡部 謙次、石川 博孝、石川 誠司

藤原いずみ、日野 友晴

2. 卒業生会員

平成17年1月1日現在 319名

3. 役 員

理 事 長 梶野 直宏

直前理事長 福田 康伴

副 理 事 長 石橋 由行、石田 修司、小玉 友之、高橋 信治

専 務 理 事 小川 敬

会 計 理 事 藤原 歳暢

理 事 勝部 信生、井上 克夫、清原 修、内田 政智、石橋 慶一

監 事 小林 悟、北尾 慶子

日本JC出向 井上 克夫、手縄 賢一、三島 一男、小村 麻里

中国地区出向 内田 雄治、成相 祐一

島根ブロック出向 嘉本 貴、嘉村 栄二、藤原 歳暢、福嶋 佳久、多々納 要

佐藤 勝博、須山 政樹、石原 健司、石川 博孝、柳楽 忍

岡田 勇太

2005年度(社)出雲青年会議所組織図

直前理事長 福田康伴
 ネットワークセンター長 梅野直宏
 監事 小林 悟
 監事 北尾慶子
 会計理事 藤原歳暢
 理事 嘉本 貴

総 会

理 事 会

協 議 会

理事長
梅野直宏

日本青年会議所

道徳力創造委員会副委員長 井上克夫
 道徳力創造委員会委員 手縄賢一
 道徳力創造委員会委員 三島一男
 道徳力創造委員会委員 小村麻理

中国地区協議会

地域力創造委員会委員長 内田雄治
 地域力創造委員会委員長補佐 成相祐一

島根ブロック協議会

副 会 長 嘉本 貴
 副 会 長 幹 事 嘉村栄二
 スポーツ大会運営会議議長 藤原歳暢
 スポーツ大会運営会副議長 福嶋佳久
 総務広報委員会副委員長 多々納 要
 ブロック教育委員会委員 佐藤勝博

マニフェスト型地域創造委員会委員 須山政樹
 ブロック研修委員会委員長 石原健司
 ブロック研修委員会委員 石川博孝
 GTS委員会副委員長 柳楽 忍
 G T S 委 員 会 委 員 岡田勇太

副理事長
石橋由行

副理事長
ブロックスポーツ大会実行委員長
石田修司

副理事長
小玉友之

副理事長
高橋信治

専務理事
小川 敬

会 員 開 発

担当理事 勝部信生
 委員長 井上健一
 幹事 日野友晴

福田康伴
 児玉 治
 渡部謙次
 中島 亮
 竹田和彦
 石川誠治

青 少 年

担当理事 井上克夫
 委員長 岩崎 圭
 幹事 松原裕樹

小林 悟
 福嶋佳久
 福間康介
 萬代輝正
 内田雄治
 森立隆幸
 藤原いずみ

ま ち づ くり

担当理事 清原 修
 委員長 本常 徹
 幹事 山根 茂
 " 北野謙治

北尾慶子
 福代秀洋
 松井修一
 柳楽 忍
 石原健司
 石川博孝
 鬼塚英彦
 岡田勇太

経 営 開 発

担当理事 内田政智
 委員長 持田隆治
 幹事 佐藤大樹

嘉本 貴
 須山政樹
 成相祐一
 多々納 要
 川上泰志
 三島一男
 藤原祐樹
 佐藤勝博

総 務 広 報

担当理事 石橋慶一
 委員長 藤江周弘
 幹事 大谷 訓
 " 増原一憲

手縄賢一
 藤原歳暢
 鈴木重臣
 久野健太郎
 嘉村栄二
 内藤慎也
 小村麻理

会 員 拡 大
運 営 会

議 長 嘉本 貴

三島一男
 内田雄治
 森立隆幸
 久野健太郎
 藤原祐樹
 嘉村栄二
 内藤慎也
 鬼塚英彦
 藤原いずみ
 佐藤勝博
 岡田勇太

4JCコラボネット
特 別 会 議

議 長 梅野直宏
 事務局長 小川 敬

福田康伴
 石橋由行
 石田修司
 小玉友之
 高橋信治
 藤原歳暢

)は途中退会者